

安定的な水の供給を

答 アセットマネジメントに基づき取り組む



黒川 悟 議員

問 水道事業の現状と将来の見通しについて、施設の適切な資産管理を推進する上で、欠かすことのできない水道台帳の整備は。

答 上下水道課長 浄水場施設等の図面や、写真等は、永久保存している。

管路施設は、全て電
子化され、事務所内の
端末で確認でき、随時
更新も行っている。

問 今後、施設等の老朽化が懸念される。

全国的な管路更新率
は、0.76%で、この
ままでは130年かか
る見通しだが、当町の
更新率は。

答 課長 過去5年の
平均では0.5%であ
り、都市計画道路等の
拡張工事に合わせ、基
幹管路の新規布設が多
かったため、更新率が
低下している。

例年行っている管路
工事については、0.
9から1%の更新率に
なる。

問 熊本地震で、管路の耐震性が表面化した
が、今後当町ではどの
ように進めて行くのか。

答 課長 平成18年か
ら75ミリ以上は、ダク
タイル铸铁管を採用
し、配水主管を含む全
ての管路に、耐震適合
性のあるものを使用し
ている。

28年からは、50ミリの
配水主管は、ポリエ
チレン管を採用して、
ライフサイクルコスト
の低減を図っている。

問 当町のアセットマ
ネジメントの概要は。

答 課長 資産管理の
運用面で経済的な収益
性やコスト低減を目的
としている。効果とし
ては、問題箇所の早期

発見、ライフサイクル
コストの低減、住民の
ニーズに応えた良質
で、安定的な水の供給
が主な目的となってい
る。

問 今後の水道事業に
対し、広域化を含めた
方向性を見通しは。

答 課長 平成28年3
月から福岡都市圏の水
道のあり方検討会が開

催され、広域化と施設
の共同利用、水の融通
等が議題になっている。
29年度は、企業団が
施設の有効利用や共同
化を図るための検討会
を行う。

※ライフサイクルコ
ストとは、構造物の
計画、維持・管理、
解体撤去、廃棄にい
たる経費のこと。



原の前配水池



藤野 莞嗣 議員

人口増加の取組を

答 子育て支援に努める

問 国立社会保障・人口問題研究所の人口推計で宇美町は、33年後には3万人を割り込み、人口減少し続けると推計されている。5年間の住基人口、国勢調査の人口動態の推移は。

答 住民課長 住基基本台帳の基準日は4月1日（下表に掲載）。

答 政策経営課長 国勢調査の基準日は10月1日で宇美町に居住している人口、平成22年は38,592人、平成27年は37,927人で比較すると665人減少。

問 人口は減少しているが、世帯数は増加。その要因と子育て世帯の推移は。

答 住民課長 人口が年々減少している一方、多人数世帯から一部のみ転出、世帯は現状と変わらない。

過去5年間の年齢段階別の増減率は、0歳から19歳は2.8%の減少、20歳から64歳は10.4%の減少、65歳以上は28.8%の増加。

問 若い世代の減少が出生児の減少の大きな要因の一つと思う。

宇美町総合戦略の子育てしやすい環境をつくるために婚活支援はどこまで進んでいるか。

答 子育て支援課長 平成26年に宇美町社会福祉協議会主催で見合いパーティーを開催、男女32名参加、翌年は参加者が少なく中止。

福岡県では、出会い・結婚応援事業を民間に委託、登録人数は5,579名、これまで成婚は365組。

町単独ではなく、県の事業に合わせる。

問 子どもの通院、入院治療費の経済的負担の軽減の現状は。

答 住民課長 3歳未満は通院も入院も全額無料。

所得制限を設けず、自己負担額は、3歳から小学校就学前までは通院が月800円、入院が月3,500円。

小学生は通院が月1,200円、入院が月3,500円、中学生は入院のみで月3,500円。

問 子育て支援と町有地の活用で人口減少に歯止めをかける方策に期待したいが見解はどうか。

答 町長 子育て世代に対する支援、宇美町の人口増加、発展のために重要なポイントであると認識し、町有地の有効活用や運用を図っていく。

◆その他の質問
町有地の有効活用を

住民基本台帳人口(人)	前年度比	0歳児(人)
平成24年		356
平成25年	0.6%減	332
平成26年	0.3%減	316
平成27年	0.4%減	306
平成28年	0.7%減	316